

**志津公民館**

# 志津地区の概要

---

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成23年3月末現在では、佐倉市の総人口176,169人に対し志津地区の人口が74,768人となっており、その割合は42.4%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。

ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩3分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

また、志津地区の公共施設では「志津コミュニティセンター」「志津図書館・分館」「ふれあいセンター」「西部保健センター」「志津児童センター」など、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られている。



## 2 . 公民館利用状況

---

年度別利用状況

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
利用件数 (件)	4,326	4,313	4,661	4,447	4,281
利用人数 (人)	59,548	57,596	62,313	57,961	54,865
開館日数 (日)	333	334	333	333	333

## 事業の部

領域	事業名	内容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	お母さんと遊ぼう	親子のふれあいを考え、親子遊びの中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるための親の態度を学んだ。	2歳児と母親 25組	5月～12月 全15回
	笑顔で子育て講座	子育て中の保護者を対象に、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、食の分野から提案した。	小学生と保護者 10組	2月19日 1回
青少年教育	佐倉っ子塾 クッキング	佐倉の地域素材をおりませながら、体験学習等を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育み、交流の場と仲間づくりの機会を提供した。	小学生高学年 24人～35人	5月～12月 全4回
	佐倉っ子塾 手作り工房		小学生低・高学年 4人～19人	5月～12月 全4回
	佐倉っ子塾 理科実験教室		小学生低学年 19人～27人	6月～11月 全5回
	佐倉っ子塾 自然環境教室		小学生低・高学年 13人～32人	5月～11月 全2回
成人教育	佐倉学入門講座 佐倉道を歩く会 (佐倉・城下町400年記念事業)	記念事業として、城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道について史跡などから学び郷土愛を育てた。	成人 53人	10月～11月 2コース 各5回
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ	郷土の歴史・自然・文化にふれ、わがまち佐倉を知り、地域への親しみと愛着を育むとともに、講座を通して地域人材の育成と地域団体との連携を深め、地域の教育活動の促進を図った。	成人 30人	2月 全4回
	ヤマアジサイ観察会	公民館活動サークル「花の輪」が上座総合公園に植栽したヤマアジサイを見ながら、鑑賞ポイントや栽培方法を学んだ。	成人 40人	6月3日 1回
	しづ市民大学 しづ学入門	郷土の成り立ちについて学び、郷土愛を育み、より良い地域づくりを考えた。	成人 43人	6月～2月 20回

成人教育	しづ市民大学 リフレッシュ健康学	健康管理を対象として学習し、地域住民と連携し健康増進を図った。	成人 42人	6月～2月 19回
	しづ市民大学 おやじの食事学	料理の技術を学びながら、食の大切さを考え、仲間作りと地域の交流を図った。	成人 30人	6月～2月 18回
	しづ市民大学 くらしの情報学	日々のくらしに役立つ情報を学び、安全で快適かつ心豊かな生活を送ることを目指した。	成人 45人	6月～2月 19回
	しづ市民大学 研究科	志津地区における歴史や景観の変遷などを、テーマごとにグループに分かれ調査した。	市民大学修了生 7人	4月～2月 19回
団体育成	第37回 志津公民館祭	学習成果の発表や展示を通して、地域の交流の場作りや学習機会の提供を行った。	志津公民館 利用グループ 99団体	10月15日・ 16日・17日 の3日間
	グループ運営研修会	グループ活動の意義、運営の方法を学ぶことから、自主性を高め、地域活動を考える場とした。	志津公民館 利用グループ 68団体	5月17日 1回
	調理室利用者懇談会	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用グループ間の交流を図った。	志津公民館 調理グループ 15団体	6月21日 1回
	志津地区子ども会 育成会連絡協議会 (志子連)	各種事業への援助と育成を通じて、健全な発展を目指した。	志津地区の 安全会加入 子ども会 9団体	通 年
	志津ジュニア・リーダーズ・クラブ (志津JLC)	「志津JLC」の行う各種事業への支援を通じて、ジュニアリーダーの養成を図った。	活動団体	通 年
広報活動	公民館だより「しづ」の発行	志津公民館事業の案内、意見・情報等を提供し、公民館活動への理解と認識を深めた。	志津地区新聞折込 並びに公共施設に 配架掲示	5月 10月 1月 全3回
図書	図書等の貸し出し	地域団体や公民館で作成したビデオや図書の貸出し業務を行うとともに、佐倉市の情報発信に勤めた。	地域住民	通 年 貸出は14日以内

# 1. 家庭教育事業

## お母さんと遊ぼう

開設趣旨 「育児」は親が子どもを一方向的に育てることと思われがちであるが、子どもの成長を見守りながら、親も子どもと共に成長することを理解する必要がある。  
親子のふれあいや日常生活の中から、幼児の自主性と豊かな心を育てるとともに、親同士の交流をはかり、楽しみながら「育児は育自」ということを母親が体験し、自身の生き方を考える。

対象・人数 2歳児と母親25組

期間・回数 平成23年5月28日～平成12月17日 15回

ただし「家族と遊ぼう」は11月21日(日)に実施

学習目的 1. 幼児の自主性と豊かな心を育む。  
2. 母親が「育児は育自」であることを体験し、今後の子育てに生かせるようにする。  
3. 参加者の交流を深め、子育ての喜びや悩みを共有する地域の仲間づくりを図る。

指導者 蓮 淳子(幼児教育研究家)他

### プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学 習 内 容	指 導 者
1	5月28日 (金)	あそびましょう 開講式	見つめて、ふれあって、 抱っこして、楽しい出会い をはじめましょう。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
2	6月4日 (金)	自然体験 さつまいもを植えよう	自分達でさつまいもの苗 を植えよう。	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ
3	6月18日 (金)	遠足 仲良くなるよう	大型バスに乗って動物園 に行こう!	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
4	7月2日 (金)	お星様がいっぱい	お母さんが作った星をの りで貼り七夕の飾りを作 ります。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
5	9月3日 (金)	工夫して遊ぼう	お手玉や布を使って遊び ます。グループごとに考 えた遊びの発表もします。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
6	9月10日 (金)	子供を知ろう	先生の話聞きながら子 どもをしりましょう。	大和田 イエ子 (幼児教育研究家)
7	9月17日 (金)	野外で遊ぼう	上座公園に行って、おも いっきり体を動かそう。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
8	9月30日 (木)	遠足 秋を探そう	草ぶえの丘で芋掘り、餅 つきを体験します。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
9	10月8日 (金)	食事を考えよう	幼児期に必要な栄養を知 りましょう。	食生活改善推進員

10	10月29日 (金)	自然体験 さつまいもを収穫しよう	自分達で植えたさつまいもを収穫しよう。	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ
11	11月5日 (金)	造形あそび	親子で思い出に残る作品を作ります。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
12	11月12日 (金)	絵本を読んでもらおう	本を読んでもらいながら楽しみましょう。	中島 浩子 (絵本研究家)
13	11月21日 (日)	家族で遊ぼう	家族で協力しておもちゃを作ります。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
14	12月3日 (金)	運動あそび	リズム運動や親子体操を通して子どもの発達と成長を考えます。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
15	12月17日 (金)	クリスマスお楽しみ会 閉講式	グループ発表で思い出を作しましょう。	蓮 淳子 (幼児教育研究家)

#### 講座を終えて

地域との関わり家族の絆が希薄になった現代において、2歳児とそのお母さんを対象に、遊びを通した親子のふれあい、2歳児の子育て中という同じ状況にあるお母さん達の情報交換の場、そして交流と仲間づくり等の向上を目指して本講座を実施した。

今年度も2回のバスハイクを実施し、お母さん手作りのお弁当を持って春には千葉動物公園、秋には草ぶえの丘に遠足に行った。子どもたちはバスの中では大はしゃぎ、例年帰途のバスでは疲れて寝てしまう子が多いのだが、今年は元気な子が多く車中は楽しく手遊び等を楽しんだ。秋の遠足では天候に恵まれなかったものの、指導者の工夫もあり、体育館で体を動かしたり、輪になりお弁当を食べて楽しく過ごした。

最終回のクリスマス会・閉講式では、地域で活動している「ママさん音楽サークル」による演奏があり、普段見たこともない珍しい楽器を前に子どもたちは大喜びだった。そして会場を暗くし、キャンドルに火をつけ準備が整ったところでサンタさんが登場した。一人ひとりプレゼントをもらい、サンタさんを目の前にした子どもたちは、笑顔だったり不思議そうな顔を見せたり、中には怖がっている子どももいて、個性豊かな表情が見られた。昼にはみんなで持ちよった一品料理を囲み食事をしながら、お互いにレシピを交換する姿が見られ、楽しい交流の場となり、閉講するのが名残惜しそうであった。

閉講式では「講座に参加することを躊躇していたがおもいきって参加し、たくさんの知合いができたよかったです」と話す声が聞こえてきた。参加者からは満足する評価を頂いたが、更なる学習内容の検討を重ねるとともに気軽に参加できる雰囲気づくりを含め、地域に暮らす多くの方に公民館活動を理解してもらえるよう広報の手段等も含め創意工夫をしていきたい。

#### 笑顔で子育て応援講座

**開設趣旨** 子育て中の保護者とその子どもを対象に、子どもが健全に育つための、家庭のはたらきや、あり方、親子のふれあいを考える。家庭で実践できるふれあいについて、そのアプローチの一端を、スポーツ・食・手工芸等の分野から提案する。

**対象・人数** 志津地区在住の小学生と保護者

**期間・回数** 平成23年2月19日 1回

**学習目的** 1.大人と子どもが協力して作業することで、家族間の親睦を深める。  
2.家庭が果たす役割の重要さを、家族で学ぶ。

**指導者** 栄養士 小林 由喜子

#### プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
---	--------	-------	---------	-------	------

1	2月19日 (土)	親子で挑戦！ 房総太巻きずし	太巻きずし作りを通じて親子間の親睦を深め、一緒に食について考える。	栄養士 小林 由喜子	24人 (10組)
---	--------------	-------------------	-----------------------------------	---------------	--------------

#### 講座を終えて

かつて親から子へと作り方を受け継いできた房総太巻きずしを、大人と子どもが協力して作ることで、一緒に家庭での食の役割について考えることが、本講座の目的であった。太巻きずしの作り方のみではなく、講師から子育てについてのアドバイスもあり、家庭の役割の再考を促すことができた。

参加者からは、料理のノウハウや食の大切さを学ぶことができたこと、そして親子一緒に参加できたことについて、高い評価を得ることができた。また、子どもたちは自分の手で太巻きずしを作ったことに喜びを感じ、料理への関心を高めたようである。

なお、今回の講座名は「親子で挑戦！」となっていたが、祖母と孫と一緒に参加した組も2組あった。中学生・高校生や就学前の子どもとの参加を希望するご意見もいただいていることから、今後は子どもが小学生の親子以外の世代も視野に入れ、家庭での教育の一助となる場を設けていきたい。

## 2. 少年教育事業

### 佐倉っ子塾 クッキング

開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習をとおして、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

対象・人数 志津地区在住の小学生（高学年） 人数は下記参照

期間・回数 平成22年5月30日～平成22年12月5日 4回

学習目的 1. 自分たちの手で料理を作り上げることによって、料理の楽しさと大切さを実感してもらう。  
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。  
3. 地元の素材を取り入れ、地域への関心を高める。

指導者 おやじの食事学同好会

#### プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	5月30日 (日)	「手打ちうどん体験」 をしてみよう!	うどんを粉から作ることで、 作る喜びを感じてもらおう	おやじの食事学 同好会	35人
2	7月11日 (日)	収穫体験! とれた夏野菜で カレーを作ろう	自分で収穫した野菜でカレ ーを作ることで、食の大切さ を学んでもらう	おやじの食事学 同好会	34人
3	11月7日 (日)	米粉でピザを作ろう!	生地に米粉を使うことで、栄 養や食材に関心を持っても らう	おやじの食事学 同好会	24人
4	12月5日 (日)	クリスマスパーティの 料理を作ろう	料理を通じて行事への理解 を深め、楽しさを実感して もらう	おやじの食事学 同好会	26人

#### 講座を終えて

今年度は5月～12月にかけて、4回開催した。4回とも公民館活動サークルである「おやじの食事学同好会」にご指導いただき、地域や季節の素材を活かした内容となった。

「『手打ちうどん体験』をしてみよう!」では、普段食べているうどんを、うどん粉を捏ねるところから作った。うどん粉を捏ねる、足で踏む、寝かせる、伸ばす、切るといううどんができるまでの作業を子ども達で協力して行い、作る楽しさを体験することができた。

「収穫体験! とれた夏野菜でカレーを作ろう」では、子ども達が畑で野菜の収穫体験を行い、そして、自分たちで採った野菜でカレーを作った。野菜を地域の畑で収穫するところから体験することで、食材への関心を高めるとともに、地域の交流を図るきっかけとなった。

「米粉でピザを作ろう!」では、小麦粉だけではなく、佐倉市で使用を推進している米粉を混ぜた生地でピザを焼き、子どもたちの食材への関心を高めた。トッピングに身近な食材を使い、フライパンを使って焼くなど、家庭でも気軽に実践できるよう配慮した。2人ひと組で1枚のピザを焼いたため、子ども同士の連帯感も増し、学校の違う友達を作るきっかけとなった。

最後は「クリスマスパーティの料理を作ろう!」というテーマで、クリスマスにちなみ、鶏肉の料理と子どもでも気軽に作れるケーキを作った。時には失敗しながらも、子どもたちは友達と一緒に料理を

作る楽しさを体験することができた。また、クリスマスの食卓を飾る料理の謂われを学び、季節の行事への理解を深めた。

## 佐倉っ子塾 手づくり工房

開設趣 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習をとおして、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。

対象・人数 志津地区在住の小学生（低学年・高学年別に募集）人数は下記参照

期間・回数 平成22年6月6日～平成22年12月12日 4回

学習目的 1. 手工芸を通じて子どもたちの「創意工夫」の心を養う。  
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

指導者 スケッチブック・佐倉っ子工芸クラブ（公民館サークル・同好会）

### プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月6日(日)	オリジナルTシャツを作ろう	Tシャツに絵を描いて、自分だけのオリジナルTシャツを作る	スケッチブック	19人
2	6月20日(日)	手づくり飛行機を飛ばそう	工夫しながら飛行機を作り、物づくりの楽しさを体験する	佐倉っ子工芸クラブ	4人
3	10月10日(日)	デコパージュで立体絵(3D)を作ろう	デコパージュの技法を使い立体絵を作り、創作意欲を喚起する。	スケッチブック	12人
4	12月12日(日)	自然の素材を使ってお山の小リスのミニツリーを作ろう	工作の楽しさを身近にある自然の材料を使い遊ぶことによって体験する。	佐倉っ子工芸クラブ	17人

### 講座を終えて

子どもたちに手工芸の楽しさを体験してもらうことを目的とし、地域の大人たちを先生に迎え、全部で4回の開催となった。

「オリジナルTシャツを作ろう」では、普段はただ購入して着るだけのTシャツに絵を描き、オリジナルTシャツを作成した。子どもたちは図柄や配色を工夫してTシャツを完成させ、その発想力の豊さに講師も驚いていた。身近なものを工夫し、楽しむことを学ぶことができた。

「手づくり飛行機を飛ばそう」では、折り紙の飛行機や割り箸とハガキを使った飛行機を製作した。子どもたちは羽の角度や重りの重さ、飛ばし方を調整し、より遠くへ飛ばよう工夫しており、工作や遊びの中で試行錯誤することを学んでいた。応募が少なく、当日の欠席も多かったため、少人数の参加となってしまった。

4講座中唯一小学校低学年を対象とした「デコパージュで立体絵(3D)を作ろう」では、デコパージュの技法を用い立体絵(3D)を製作した。絵を切り抜いて、重ねて貼り合わせるといふ、身近な材料を使い工夫することによって、身の回りを彩る物を作れることを体験した。完成した作品は公民館祭の間展示され、多くの人の関心を集めていた。

「自然の素材を使ってお山の小リスのミニツリーを作ろう」では、どんぐり、まつぼっくり、小枝等身

近にある自然の材料を使ってミニツリー製作した。子ども達は楽しみながら、個性豊かなミニツリーを製作し、物を作る楽しさを体験した。また、最後には全員で協力して大きなクリスマスツリーを作った。

### 佐倉っ子塾 理科実験教室

- 開設趣旨 身近な素材を活かし地域住民の協力を得ながら、子どもたちに「ふしぎな世界」への挑戦と発見を体験する機会を提供し、科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、青少年の自主性と健全育成を図る。
- 対象・人数 志津地区在住の小学生（低学年） 人数は下記参照
- 期間・回数 平成22年6月13日～平成22年11月21日 5回
- 学習目的 1.身近な素材を使った理科実験により、子どもたちに理科の楽しさを体験してもらい、興味関心を高める。  
2.地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
- 指導者 自然科学の会・自然科学18同好会（公民館サークル・同好会）

#### プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月13日 (日)	空気砲で遊ぼう	身近なもので理科実験 空気砲・空き缶つぶし・風船 糸電話などにより空気のふ しぎを体験する。	自然科学 18同好会	25人
2	6月27日 (日)	電気自動車 で遊ぼう	身近なもので理科実験 くだもの電池を作って実 験・模型自動車を作って走ら せて遊び体験をする。	自然科学の会	19人
3	6月27日 (日)	電気自動車 で遊ぼう	身近なもので理科実験 くだもの電池を作って実 験・模型自動車を作って走ら せて遊びを体験する。	自然科学の会	20人
4	10月24日 (日)	光の万華鏡を 作って楽しもう	身近なもので理科実験 光の不思議(屈折・色・エネ ルギーなど)を学び、万華鏡 を作って楽しい実験。	自然科学の会	25人
5	11月21日 (日)	空気砲で遊ぼう パート	身近なもので理科実験 空気砲・空き缶つぶし・風船 糸電話・模型飛行機により空 気のふしぎを体験する。	自然科学 18同好会	27人

#### 講座を終えて

『佐倉っ子塾』講座の一つとして、今年度は小学生(低学年)を対象に理科系の体験学習の場を提供した。ふしぎな世界を感じながら探究心や想像力・発想力などを培い、新しい仲間と「ふしぎなこと」について話し合いをする中で、友だちを増やすことができた。

「電気自動車で遊ぼう」では、参加希望者が多数でしたので午前・午後の二部制により実施し、子どもたちの歓声が教室内に響き渡り活気あふれる学習時間となった。

なお、実験教室の指導に協力していただいた「自然科学の会」・「自然科学18同好会」の皆様による万

全を期した準備と熱意により、不思議で楽しい体験となり大変充実した講座が展開された。

今後においては、子どもたちの生活の中にある身近な「ふしぎ」についてをテーマとして、実験・体験・工作教室などを継続的に展開して開設趣旨の実現を目指したい。

### 佐倉っ子塾 自然環境教室

開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。

対象・人数 志津地区在住の小学生（低学年・高学年別に募集）人数は下記参照

期間・回数 平成22年5月23日～平成22年11月4日 2回

学習目的 1. 地域の自然とふれあいうことで、子どもたちの自然への関心を高める。  
2. 外で遊ぶことの楽しさを実感してもらい、青少年の健全育成を図る。  
3. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

指導者 本部 三枝子（自然体験活動家） ・ 出山 玲子（出山果樹園・野菜ソムリエ）

#### プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	5月23日 (日)	ネイチャーゲームに 挑戦	身近にある自然を散策し、 自然にふれることの楽しさ を体験する。	本部 三枝子 (自然体験活 動家)	13人
2	11月14日 (日)	秋の味覚狩り& アップルパイ作り	自然にふれることの楽し さ、素晴らしさを体験し、 集団行動を通じて協調性を 育む。	出山 玲子 (出山果樹園・ 野菜ソムリエ)	32人

#### 講座を終えて

今年度は天候の関係もあり、低学年と高学年を対象に1回ずつ講座を実施した。

低学年を対象とした「ネイチャーゲームに挑戦」は、身近な公園にある自然の素材を使い作品を作成した。まずは公園に行き珍しい形をした葉っぱ、枝、どんぐり等を収集した。その後教室に戻り収集した自然の素材を上手に使い、自分だけのオリジナルの作品を手に入れた。素材集めから始め、最後まで自分の力で成し遂げた子どもたちは、自分で作る楽しさ、喜び、素晴らしさを実感したのではないかと思われる。

高学年を対象とした「秋の味覚狩り&アップルパイ作り」は志津地区の果樹園を会場に実施した。大自然に囲まれた果樹園でりんご、柿、ゆず等の果物を収穫し、自分達で収穫したりんごをつかってアップルパイが出来上がった。包丁をうまく使えない子ども達も多かったが、みんなで協力して作った自家製アップルパイの味は格別だったに違いない。

今年度は天候の関係で当初予定していた内容を当日変更したが、ご指導していただいた先生の臨機応変な対応により充実した内容になった。また子ども達のために快く会場を提供していただき、入念な事前準備を含め、たくさんの方々の協力があったからこそ、このような機会を提供することができ改めて感謝したい。

今後も志津地区にある自然を紹介するとともに、自然を舞台に魅力のある内容を企画し、自然体験の素晴らしさを継続的に提供していきたい。

### 3 . 成人教育事業

#### しづ市民大学 (第21期)

##### 開設趣旨

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

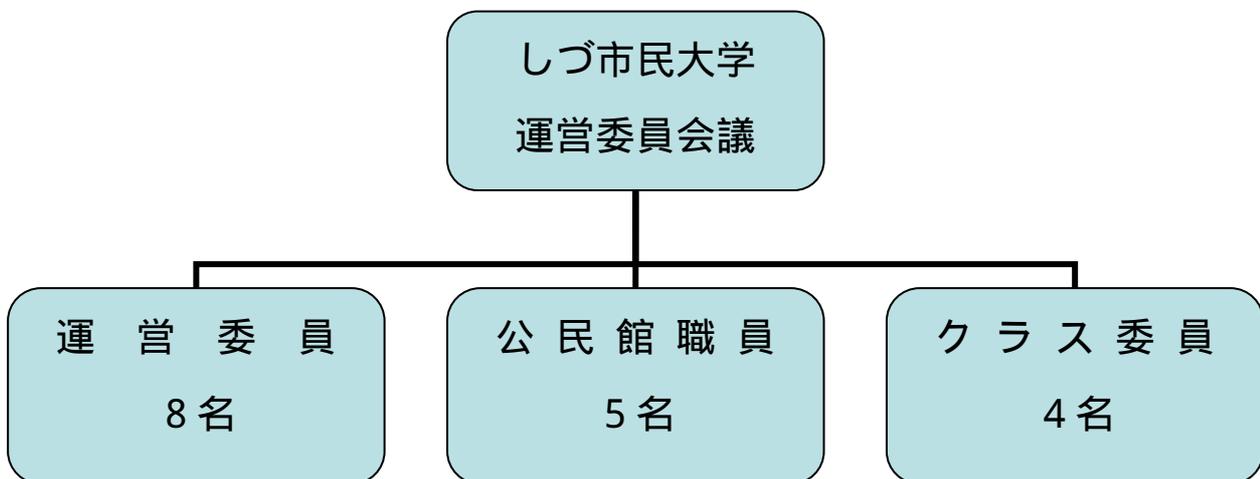
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図ることも含む。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の二つとし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

- ( 1 ) 自主的な学習活動の促進  
( 個人的な参加型の学習から地域への展開 )
- ( 2 ) 生涯学習を進めるまちづくり  
( 地域社会の活性化 )

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

#### 【 しづ市民大学運営関係図 】



## 【 開設講座 】

### 一般コース（専科 4コース）

1. **しづ学入門（定員40人）** 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
2. **リフレッシュ健康学（定員40人）** 地域のつながりが希薄化し、少子高齢化が進む現代社会において、地域住民、地域の健康増進を目的とし、継続して取り組むことにより本来人間が持っている治癒力を取り戻し、体の中から改善する健康づくりを地域全体で考える。
3. **おやじの食事学（定員30人）** 『おやじ厨房に入る』ことを基本コンセプトとして、男性が料理の楽しさを体験し、家族に喜ばれる食事作りについて学ぶ。また、おやじの食事学修了生をはじめ地域の方々の協力を得ながら、食事作りを通じて地域の交流を深める。
4. **くらしの情報学（定員40人）** 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。

### 研 究 科

一人ひとりの生きがいの発見、地域の仲間づくりを通して、住み良いまちづくりを具体的に実践していくために、しづ市民大学の修了生を対象として研究科を開設する。

ゼミナール方式により学習を進め、参加者が自ら学習課題を見つけて、その課題について調査研究及び議論を行い、その成果を記録する。

#### 【 受講費用 】

##### 無 料

ただし、教材費・材料費・入場料  
保険料などの実費は自己負担とする。

#### 【 連携・協力団体 】

##### おやじの食事学同好会

- ・食事学事業の指導及び助言
- ・地域行事における食事提供等

##### HP しづのまちづくり会

- ・OBの情報交換（HP・メール情報等）

対象・人数	しづ学入門	成人	43人
	リフレッシュ健康学	成人	45人
	おやじの食事学	成人男性	30人
	くらしの情報学	成人	45人

期間・回数 平成22年6月5日～平成23年2月26日

### プログラム

## しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	6月5日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「1300年前の東国社会」 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	国立歴史民俗博物館 館長 平川 南
2	6月19日(土) 9:30~12:00	佐倉・城下町400年の歴史 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課 課長 内田 儀久
3	7月3日(土) 9:30~12:00	小説「坂の上の雲」の時代と佐倉ゆかりの人々 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課 課長 内田 儀久
4	7月17日(土) 9:30~12:00	佐倉連隊とその時代 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 山倉 洋和
5	8月7日(土) 9:30~12:00	歴史民俗博物館で学ぶ 【国立歴史民俗博物館 見学】	歴博セミナーの会 永見 一・戸井 和雄
6	8月28日(土) 9:30~12:00	合同講演会 「佐倉の生んだ女子教育家」 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	作家 山崎 光夫
7	9月4日(土) 9:30~15:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区 史跡散策】	歴博セミナーの会 永見 一・戸井 和雄
8	9月18日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課 主査 猪股 佳二
9	10月2日(土) 9:30~12:00	志津の史跡と名所 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 宮武 孝吉
10	10月16日(土) 9:30~15:00	第37回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
11	10月30日(土) 9:30~12:00	市の広報ビデオ資料で見る佐倉 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課 課長 内田 儀久
12	11月6日(土) 9:30~15:00	志津の歴史散策 = 史跡・古道散策など = 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 高橋 三千男
13	11月20日(土) 9:30~12:00	印旛沼の変遷 = 湖沼の生態系 = 【志津公民館 大集会室】	内水面水産研究所 主席研究員 川津 浩二
14	12月4日(土) 9:30~12:00	野鳥ウォッチング 【志津公民館 大集会室】	日本野鳥の会 会員 浅野 俊雄
15	12月18日(土) 9:30~12:00	成田(門前町)を学ぶ = 成田山新勝寺など = 【志津公民館 大集会室】	成田山霊光館 学芸員 矢嶋 毅之
16	1月15日(土) 9:30~12:00	民俗行事を学ぶ = 井野の辻切りなど = 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋 三千男
17	1月29日(土) 9:30~12:00	「ユーカリが丘」の街づくり事業 【志津公民館 大集会室】	山万(株) 開発事業部 担当者
18	2月5日(土) 9:30~12:00	話し合い学習 = ボランティア活動など = 【志津公民館 大集会室】	市教育委員会 社会教育課 主査補 荒井 誠
19	2月19日(土) 9:30~12:00	クラス発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
20	2月26日(土) 9:30~15:00	クラス別学習発表・閉講式 【志津コミュニティーセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「リフレッシュ健康学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	6月5日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演「1300年前の東国社会」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	歴史民俗博物館 館長 平川 南
2	6月12日(土) 9:30~12:00	森林浴を楽しもう 【志津公民館 大集会室】	ボーイスカウト日本連盟 理事 本部 三枝子
3	6月26日(土) 9:30~12:00	タオルで健康体操 【志津公民館 大集会室】	健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
4	7月10日(土) 9:30~12:00	佐倉ふるさと体操 - 介護を学ぶ - 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所 高齢者福祉課職員
5	7月24日(土) 9:30~12:00	素潜りの世界 - 呼吸法でリラックス - 【志津公民館 大集会室】	フリーダイバー 平井 美守珠
6	8月7日(土) 9:30~12:00	ヨーガに挑戦 【志津公民館 大集会室】	ヨーガインストラクター 平井 美守珠
7	8月28日(土) 9:30~12:00	合同講演会 「佐倉の生んだ女子教育家」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	作家 山崎 光夫
8	9月11日(土) 9:30~12:00	太極拳ってなに？ 【志津公民館 大集会室】	日本武術太極拳連盟 指導員 中城 明
9	9月25日(土) 9:30~12:00	太極拳ってなに？ 【志津公民館 大集会室】	日本武術太極拳連盟 指導員 中城 明
10	10月9日(土) 9:30~12:00	軽スポーツを学ぼう - グランドゴルフ - 【志津中学校】	社会体育指導委員 六崎 美知代
11	10月16日(土) 9:30~14:00	第37回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
12	10月23日(土) 9:30~14:00	歩いて歩いて健康に！ 【志津公民館 大集会室】	千葉県ウォーキング協会
13	11月13日(土) 9:30~12:00	食事が大事！ - 健康を食事・栄養から考える - 【志津公民館 大集会室】	栄養士 小林 由喜子
14	11月20日(土) 9:30~12:00	バランスを考えた食事作り - 実習編 - 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
15	11月27日(土) 9:30~12:00	心の健康 - 身近な人が うつ になったら - 【志津公民館 大集会室】	地域活動支援センター そらのまめセンター長 中能 美香
16	12月11日(土) 9:30~12:00	薬を知ろう - ジェネリックってなに？ - 【志津公民館 大集会室】	佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋
17	1月22日(土) 9:30~12:00	薬草で健康に！ - 漢方薬を学ぼう - 【志津公民館 大集会室】	佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋
18	2月12日(土) 9:30~12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月26日(土) 9:30~16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「おやじの食事学」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	6月5日(土) 9:30～12:00	開講式・記念講演「1300年前の東国社会」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	国立歴史民俗博物館 館長 平川 南
2	6月12日(土) 9:30～13:00	切り方・計り方・使い方(講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月26日(土) 9:30～13:00	おいしいごはん(実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
4	7月10日(土) 9:30～13:00	気軽に作って食べよう(実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
5	7月24日(土) 9:30～13:00	先輩直伝! 手打ちうどん(実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会 奥平 英明
6	8月21日(土) 9:30～13:00	煮物・炒め物(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
7	8月28日(土) 9:30～13:00	合同講演会 「佐倉の生んだ女子教育家」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	作家 山崎 光夫
8	9月11日(土) 9:30～13:00	定番の和食(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
9	9月25日(土) 9:30～13:00	「食」を通じて健康づくり(講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
10	10月9日(土) 9:30～13:00	オープンで手作り(実習) 【志津公民館 調理室】	料理研究家 安部井 幸江
11	10月16日(土) 9:30～15:00	第37回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
12	11月13日(土) 9:30～13:00	魚をおろそう(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
13	11月27日(土) 9:30～13:00	おやじが作る洋食(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
14	12月11日(土) 9:30～13:00	リクエストメニュー 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
15	1月15日(土) 9:30～12:00	発表に向けて(討議) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
16	1月29日(土) 9:30～12:00	メニューを考えよう(討議) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
17	2月12日(土) 9:30～13:00	腕前披露(実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
18	2月26日(土) 9:30～16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

## しづ市民大学 「 暮らしの情報学 」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	6月 5日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会「1300年前の東国社会」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	国立歴史民俗博物館 館長 平川 南
2	6月10日(木) 9:30~12:00	情報社会を考える 【志津公民館 大集会室】	東京情報大学 特任教授 杉本 正勝
3	6月24日(木) 9:00~17:00	テレビ局へ行こう~NHK スタジオパーク他見学~ 【NHKスタジオパーク・毎日新聞社】	クラス委員・運営委員
4	7月8日(木) 9:30~12:00	お金の上手な活かし方 【志津公民館 大集会室】	野村證券(株)千葉支店 ファイナンシャル アドバイザー
5	7月22日(木) 9:30~12:00	悪質商法撃退法 【志津公民館 大集会室】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員
6	8月28日(土) 13:30~16:00	合同講演会 「佐倉の生んだ女子教育家」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	作家 山崎 光夫
7	9月9日(木) 9:30~12:00	佐倉市の商業活性化について 【志津公民館 大集会室】	佐倉商工会議所 事務局長 高橋 義和
8	9月30日(木) 9:30~12:00	佐倉市企業の取組み~佐倉茶物語~ 【志津公民館 大集会室】	(株)小川園代表取締役社長 小川 勝寛
9	10月16日(土) 9:30~15:00	第37回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
10	10月21日(木) 9:30~12:00	市民と作る地域共同型のイベント 【志津公民館 大集会室】	(株)高千穂ネットワーク 代表取締役社長 中村 正明
11	10月28日(木) 9:30~12:00	話し合い学習 (受講生が学習テーマを決める) 【国会議事堂、日銀見学】	クラス委員・運営委員
12	11月11日(木) 9:30~12:00	介護予防ってなに? 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所 高齢者福祉課職員
13	11月25日(木) 9:30~12:00	認知症サポーターになろう! 【志津公民館 大集会室】	志津北部地域 包括支援センター職員
14	12月9日(木) 9:30~12:00	遺言と相続~備えあれば...!?~ 【志津公民館 大集会室】	千葉県金融広報 アドバイザー
15	1月13日(木) 9:30~12:00	交通安全の知識と啓発 【志津公民館 大集会室】	佐倉警察署 交通課職員
16	1月27日(木) 9:30~12:00	災害に備えて~佐倉市の防災~ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所 交通防災課職員
17	2月10日(木) 9:30~12:00	救急講習 【志津公民館 大集会室】	志津消防署職員
18	2月17日(木) 9:30~12:00	発表に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月26日(土) 9:30~16:00	クラス別発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

## 研究科「第8期」

### 開設趣旨

研究科は、しづ市民大学の修了者を対象として開設している。

自ら学習を進めるゼミナール方式により、参加者が自ら学習課題を見つけ、調査研究を重ねる中で議論し活動の成果を記録するとともに、地域社会に発信していくことを目指し実践していくものである。

今期の研究テーマは「成田道と周辺に残る名所旧跡・地名などの変遷」とし、成田道沿いに関する歴史等の調査研究を行い、当時の街道の様子や現在に遺された史跡の重要性を広く発信していくことを目指す。

期間 平成22年4月から平成24年2月まで約2年間  
研究活動は、原則月2回 第1・第3土曜日の9時30分～12時

### 研究科の活動状況（22年4月～23年2月）

「しづ市民大学」の修了生7名により、研究科(8期生)が研究活動を開始した。  
22年度の調査研究は、19回におよぶ活動となった。

1回～9回（4月17日～9月4日）

調査研究の対象について検討

- ・過去の研究科によるテーマの確認
- ・研究生から調査研究について提案
- ・チューターより助言と提案など

成田道沿いの歴史的な内容を調査・研究 することで合意

10回～14回（9月18日～12月4日）

成田道を散策し調査研究を実施した

- ・10回 大和田駅～志津駅
- ・11回 志津駅～臼井駅
- ・12回 臼井駅～京成佐倉駅
- ・13回 京成佐倉駅～京成酒々井駅
- ・14回 京成酒々井駅～京成成田駅

15回～19回（12月4日～2月19日）

踏査に基づき研究テーマの検討を行い、主題を『成田道と周辺に残る名所旧跡・地名などの変遷』と確定した。

講座を終えて

### 「しづ学入門」

しづ学入門では、郷土の歴史や文化を学習の柱として自然環境や今後の街づくり等を学習テーマに加え、講話を中心に史跡散策・見学会と記念講演会・合同講演会の全20回(毎月2回)による学習日程を修学し、受講を重ねる中で郷土愛と多くの仲間の輪が広がり、事業の視点にある「自主的な学習活動の促進」「生涯学習を進めるまちづくり」において一つの成果を上げることができた。

受講生からは、佐倉の郷土史を学び、土井利勝が佐倉城を築城してから400年という歴史の中で、明治維新から昭和に掛けて多くの先覚者と係わりのある土地柄である事を学び、改めて佐倉に暮らすことに誇りに思うことができた、講座に対して有意義であったと評価をいただいた。

次年度においては、より身近な地域の課題や生涯学習の視点に考慮したカリキュラムの再検討と、受講生の学習修了後における様々な生涯学習活動や地域づくりへの参加・貢献等をより向上するための方策について、運営委員とともに研究し更なる学習成果を目指すことが課題となった。

### 「リフレッシュ健康学」

今年度のリフレッシュ健康学は定員40名のところ70名近くの応募があり、近年の健康志向、健康への関心の高さがうかがえる。内容に関しては今年度も座学よりも「実際に体験してもらう」をテーマに、講座終了後も継続して取り組めるもの、個人ではなく団体で取り組めるものを中心にプログラムを企画した。初めて挑戦するという方も多く、最初は戸惑いもあったようだが徐々に慣れてきて、9月に実施した太極拳の授業終了後には、継続して取り組みたいという有志が20名程度集まり自主活動が始まった。

秋になるとホームルーム等で受講生を中心に発表会に向けて打合せが始まり、今年は30分では足りないのではと思える程様々な案がでた。また普段は班員以外の方とはなかなか交流の機会が少ないという声が聞かれる中で、班をこえて交流を図る良い機会となり、充実した時間となった。

閉講式終了後には太極拳に続き、授業で取り上げたハイキングと料理のサークルが自主活動を始めた。今年度の受講生は例年に増して活動的な方が多く、1つのクラスから3つのサークルが発足し卒業後も継続して活動することとなった。また当日天候が悪く授業で実施出来なかったグランドゴルフ大会を受講生が自分達で企画し実施した。これこそが本講座の目的であり講座を通じて1年間交流を図ってきた成果であると思われる。今後は現在まで培ってきた経験と知識を活かし、地域のリーダーとして活躍してくれることを願う。

### 「おやじの食事学」

おやじの食事学は、「おやじ厨房に入る」を基本コンセプトとし、男性が料理の楽しさを体験して家族に喜ばれる食事作りを学ぶこと、そして修了生や講師、仲間たちと、食事を通じた地域の交流を深めることを目的に実施した。内容は、料理を始める前の基本から始まり、徐々に難易度が上がっていく全12回の調理実習を行った。調理だけではなく、買い物や後片付けも受講生が行い、家庭での食生活全般について体験し、学んでもらう内容であった。

受講以前は台所に立つことがなかった受講生も多かったが、習った料理を家庭で作り、家族に喜ばれた、という感想を多くいただいた。料理をきっかけとして家族間のコミュニケーションを深めることができた方が多く、また、実習を通じて受講生同士の絆も深まり、同じ地域に住む新たな仲間ができたことを喜ぶ声も多かった。これを講座の成果と捉えている。

次年度以降は、より受講生が家庭でも気軽にかつ継続的に実践できるよう、定番の料理を中心とし、食を通じた健康作りも意識した企画・運営を行う予定である。また、サークルの結成やまちづくり活動への参加を促し、受講生が地域で積極的に活動できるよう手助けを行いたい。

### 「くらしの情報学」

本コースの開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え心豊かな生活を過ごすための知識を学ぶことにあり、初年度に実施した講座の内容について見直しを行い、情報端末の発達から加齢に伴う認知症対策や高齢者の交通安全まで、日々の暮らしに役立つ情報をカリキュラムに取入れ開設した。

また、「マスメディアを学ぶ」としてNHKのスタジオパーク・毎日新聞社、及び政治経済の要として国会議事堂・日銀について2回のバス見学会を実施し、受講生の仲間としての交流も図ることができた。

受講生からは、「身近な生活の中で役に立つ、新たな知識を得られた」「生涯学習への意欲が出てきた」

「もっといろんなことを学びたい」「学んだことを地域で活かしたい」等、学習意欲が高まったという意見を多く聞くことができ、特に、介護・認知症・相続等の福祉分野への高い関心がみられた。

くらしに密着した新たな知識や情報に触れたことにより、さらなる学習意欲が高まり、新たに得た知識を取入れた生活の改善意欲、地域への関心の高まり等により学習成果をあげることができたと思う。

なお、くらしの情報学は多岐に渡る学習課題からの確なテーマを選択し座学を中心に実施している。次年度においては、講座で得た仲間や知識を活用し地域活動に繋げていくことと、更なる仲間の輪が展開されることが課題と考える。

### 佐倉学講座「井野長割遺跡」を学ぶ

**開設趣旨** 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村のすがたや生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

**対象・人数** 志津地区の一般成人 30人

**期間・回数** 平成23年2月2日～平成23年2月23日 4回

**学習目的** 1. 井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区についての知識を深める。  
2. 地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。

**指導者** 市職員（文化課職員）・（財）印旛郡市文化財センター職員

#### プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ - マ	学 習 内 容	指 導 者
1	2月2日 (水)	基礎知識編	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田 富美子
2	2月9日 (水)	遺跡の紹介	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化財センター 小倉 和重
3	2月16日 (水)	遺跡の見学	遺跡探訪し知識を深める 火起こし体験	文化課職員 松田 富美子
4	2月23日 (水)	今後のあり方	遺跡の経緯と今後について 土器の拓本	文化課職員 猪股 佳二

#### 講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。

受講生は、出土した土器などに眼を輝かせ、講師の話を中心にメモに取り、質問や意見を交換しあって活発な学習の場となった。

最後に、地域住民として受講生が「井野長割遺跡」の今後のあり方について考え・行動し、行政と協力しながら、後世にいかに関わり継ぐべきかが課題となった。

### 佐倉学講座「佐倉道を歩く会」 = 佐倉・城下町400年記念事業 =

**開設趣旨** 1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。2010年（平成22）はちょうど400年にあたるため、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とした。

**対象・人数** 志津地区の一般成人

**期間・回数** 平成22年10月24日～平成22年12月5日 10回

- 学習目的 1. 佐倉城主の歩いた「佐倉道」や城下町佐倉への理解を深める。  
2. 地域の素材を活用することで、郷土への愛着を持ってもらう。

指導者 山本 光正 氏（元国立歴史民俗博物館教授）  
八千代市郷土歴史研究会会員（会長 村田 一男 氏）

### プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	10月24日(日) 13時30分～16時	講演(合同講演会) 「佐倉道～佐倉城主の通った道」	佐倉道の成立や歴史、地理などを学ぶ。	山本 光正 (元国立歴史民俗博物館教授)	47人
2	水曜日コース 10月27日 日曜日コース 10月31日 9時30分～15時20分	史跡散策  市川関所跡～船橋西向地蔵	佐倉道のうち、市川関所跡～船橋西向地蔵までを歩く	菅野 貞男	25人 24人
3	水曜日コース 11月3日 日曜日コース 11月7日 9時30分～16時	史跡散策  船橋西向地蔵～八千代緑が丘駅	佐倉道のうち、船橋西向地蔵～八千代緑が丘駅までを歩く。	滝口 昭二	24人 24人
4	水曜日コース 11月10日 日曜日コース 11月21日 12時～16時	史跡散策  八千代緑が丘駅～志津出張所	佐倉道のうち、八千代緑が丘駅～志津出張所までを歩く。	村田 一男 牧野 光男	25人 20人
5	水曜日コース 11月24日 日曜日コース 12月5日 9時30分～16時	史跡散策  志津出張所～佐倉城大手門跡	佐倉道のうち、志津出張所～佐倉城大手門跡までを歩く。	畠山 隆 村田 一男	20人 27人

### 講座を終えて

この講座は、佐倉市の記念事業の一つとして位置付け、関連事業と調整しながら企画・準備し開設した。旧佐倉道の史跡散策を学習の柱とし1コースの定員を20人として、多くの方にご参加いただけるよう2コースを開講した。応募者は定員を超える57人(水曜日38人、日曜日19人)となり、辞退や調整により受講生53人(水曜日28人、日曜日25人)で実施した。

初回の講演会は「佐倉・城下町400年リレー講座」との合同講演会として、一般聴講者と合わせて96人の参加者を得た。講演会后、両コース合同の開講式をおこなった。

史跡散策の4回(2コース合わせて8回)は、八千代市郷土歴史研究会の会員6名に案内をお願いしたが、簡潔にまとめた資料とわかりやすく丁寧な解説は、大変好評であった。

水曜日コースの5回目は当初11月17日であったが、雨天のため予備日に延期した。その他は予定日に実施したが、2回目を除き終了予定の15時30分では日程を終えることができなかった。

一番懸念していた交通事故はなく、全日程を順調に楽しく学習することができた。参加者の平均年齢は66歳、65歳以上の参加者が74%を占めた。また、全5回に参加した方が、30人と57%を占めた。

今回の到達目的地である佐倉城大手門跡では、閉講式・修了証等の配布も行わなかったのが、参加者からは「参加証がほしかった」「もっと交流が図れるようにして欲しかった」という声をいただいた。次年度の課題としたい。

## 佐倉学講座「ヤマアジサイ観察会」

開設趣旨 志津公民館で活動している「志津園芸サークル 花の輪」が、上座総合公園に植栽してきたヤマアジサイを観察しながら、その鑑賞ポイントや栽培方法について学ぶ。公民館サークルの活動の成果を知ってもらうとともに、地域の風景に関心を持ってもらう。

対象・人数 志津地区の一般成人

期間・回数 平成22年6月3日 1回

学習目的 1. 地域の隠れた名所を知ってもらうことで、地域の風景への関心を持ってもらう。  
2. 公民館活動サークルの成果を知り、生涯学習への意欲を高める。

指導者 グリーンアドバイザー 八板 義教 氏（「花の輪」指導者）

### プログラム

回	月日(曜日)	学 習 テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	6月3日 (木)	ヤマアジサイ観察会	上座総合公園に植栽されたヤマアジサイを鑑賞する。	八板 義教 (グリーンアドバイザー)	40人

### 講座を終えて

ヤマアジサイは日本各地に自生しているアジサイの仲間、様々な種類が存在する。上座総合公園のヤマアジサイは、志津公民館で活動している「志津園芸サークル 花の輪」が、佐倉市公園緑地課と協力し5年にわたり植栽してきたものである。

当日は講師の案内で公園内に植えられたヤマアジサイを見てまわり、名前やヤマアジサイの好む環境、公園へ植栽してきた経緯等について説明を受けた。参加者からは、「講師の説明が分かりやすかった」、「地元こんな名所があるとは知らなかった」、「今度散歩に来たい」等のご意見をいただいた。

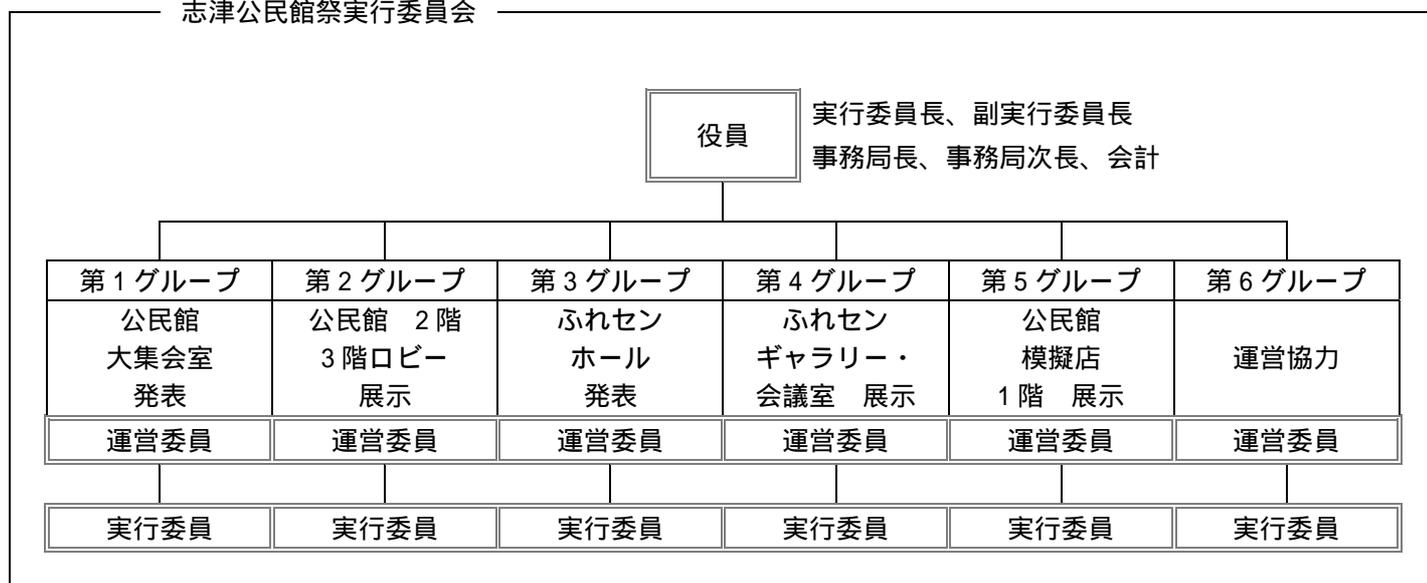
「花の輪」は、公園を市民に親しまれる新たな名所にしたい、という思いを抱き、ボランティアにて活動している。本講座にてより理解者が増え、「地域の名所」への一歩となれば、幸いである。

## 4. 団体育成事業

### 第37回 志津公民館祭

開催趣旨	志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。				
開催日時	10月15日(金)～17日(日) 10時～16時(最終日は10時～15時)				
会場	(第一会場) 志津公民館 ・ (第二会場) 西志津ふれあいセンター				
主催	志津公民館祭実行委員会				
	実行委員長	柴田 由紀枝	(志津JLC)		
	副委員長	広瀬 等	(志津太極拳)		
	事務局長	吉見 律子	(スケッチブック)		
	事務局次長	前島 薫代	(しづネット)		
	会計	矢島 俊典	(佐倉・中国語を楽しむ会)		

志津公民館祭実行委員会



参加 99 団体      来場者 2,637 人  
 実施経過 (別表)  
 公民館祭を終えて

本年度37回目を迎える志津公民館祭が、10月15日から17日の3日間に渡り盛大に開催された。前年度を上回る参加団体並びに来場者を想定し、地域のイベントと日程が重ならないように企画・調整しながら開催し、多くの地域住民の参加を得ることができた。

企画・運営については、団体の代表者から構成される実行委員会を組織し、6月から数回にわたり会議を開催した。今年度は役員交代があり、昨年度までの石井委員長から新しく女性の柴田委員長にバトンタッチされ心機一転を図った。長年に渡り前委員長が築き上げてきた功績を継承しながら、運営委員会は的確な事業運営を目指した。こうして「志津公民館」をメイン会場とし、第二会場の「西志津ふれあいセンター」を使用して、参加サークルの学習発表・展示・模擬店の出店など日頃の活動成果が披露された。

発表部門においては、ダンス・舞踊・大正琴・詩吟・マジックなどを中心に披露され、それぞれの発表に日頃の学習成果がみられ素晴らしい内容であった。

展示部門においては、書道・写真・絵画・木版画・水彩画などが作品展示された。

見学された方から、作品に関することやサークルの入会希望など多数問合せがあり関心の高さが伺

えた。

昨年度から実施した「しづ市民大学」の受講生による『ウォークラリー大会』が今年度も同時に開催され、参加者は4～5人のチームに分かれ、ふれあいセンターをスタートしコマ図をみながら地域を散策しゴールである公民館を目指した。お腹をすかせた参加者が公民館祭の模擬店に殺到し会場がにぎわい花を添えた。

最後に、今年度は99団体における活動成果の発表による祭典参加となりましたが、近年参加団体の高齢化と弱小化が懸念されている。学習の場を共有しながら活動しているサークルであるが、他の団体と交流する機会が少ない中で毎年開催される公民館祭が、地域住民を含め貴重な交流の場であり地域の活性化に寄与していると思われる。

今後も「公民館祭」の開催趣旨に基づき生涯学習を推進する中で、祭典の歴史を踏まえ事業評価を重ねながら展開し、活動団体との協働により地域社会の活性化を目指し継続的に実施していきたいと考えている。

### 【 別表 】 第37回志津公民館祭 実施経過

月・日	曜日	会議名など	検討事項など	開会時間・場所
6 / 1	火	アンケート回答締切		
6 / 13	日	第1回実行委員会	・第37回公民館祭の開催(確認) ・運営委員の選出	13:00 大集会室
6 / 13	日	第1回運営委員会	・四役選出	実行委員会終了後
7 / 1	木	参加申込み締切		
7 / 8	木	役員会議	・実施計画詳細案の検討	13:30 資料室
7 / 11	日	第2回運営委員会	・実施計画詳細案の検討	14:00 中集会室
8 / 8	日	第2回実行委員会	・実施計画詳細案の決定	14:00 大集会室
9 / 9	木	役員会議	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	17:00 資料室
9 / 12	日	第3回運営委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	13:00 大集会室
9 / 12	日	第3回実行委員会	・役割分担の確認 ・準備状況の点検・最終調整	14:30 大集会室
10 / 9、10		西志津ふれあいセンターとの打合せ(ホール使用)		
10 / 13	水	役員打合せ(13:00) 4グループ ふれあいセンターへパネルなど運搬(14:00) 中集会室利用サークル パネル移動(15:00) (会議室・相談室利用サークル・希望によりパネル移動可能) 調理室(本日から公民館祭準備のために使用)		
10 / 14	木	設営(9:30)・搬入(10:30)		
10 / 15	金	西志津ふれあいセンターホールでのリハーサル(希望サークル)		

10 / 15	金	第37回志津公民館祭（第1日）		
10 / 16	土	第37回志津公民館祭（第2日）		
10 / 17	日	第37回志津公民館祭（第3日）		
11 / 14	日	第4回実行委員会	・反省会（より良い公民館祭をめざして）	13:00大集会室
23年2 / 5		役員会議	・第38回公民館祭開催について	資料室

### グループ運営研修会

**開催趣旨** 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

**対象・人数** 志津公民館利用グループ・団体の代表者 68団体 78人

**開催期日** 平成22年5月17日（月）午後1時30分～3時30分

**学習内容** 講話「公民館でのサークル活動とは」  
公民館の予約・使用での注意事項について  
第37回志津公民館祭について  
グループ活動の意見交換  
火災を想定した避難訓練  
その他 施設予約の手順について

今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指します。

また、公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

### 調理室利用者会議

**開催趣旨** 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。

**対象・人数** 定期利用している料理グループ 参加者 15団体 23人

**開催期日** 平成22年6月21日（月）午前10時～12時

**会議内容** ・調理室の利用説明と要望・意見交換  
・調理室の清掃（調理器具の点検）

今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

\*調理備品・器具の点検 \*グループ備品の整理整頓 \*生ゴミ・廃油等の処理の徹底

### 志津地区の子ども会育成活動

**概要** 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。

加入団体 単位子ども会 9 団体  
活動内容 千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介(3月)  
千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付  
活動支援相談・連絡調整

#### **志津ジュニア・リーダーズ・クラブ(志津JLC)**

概 要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。

主な活動 単位子ども会への協力・行事支援  
志津公民館祭参加(10月)  
ジュニアリーダー初級認定講習会(主催 佐倉市教育委員会)への指導・運営協力(7月)  
佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への参加・運営協力(12月)  
志津JLCクリスマス会(志津公民館共催)企画・運営(11月)

## 5 . 広報・展示事業

### 志津公民館だより

ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の問題などについて、紙面を通して伝える。

発行回数 年 3 回 ( 5 月・10 月・1 月 )

発行部数 毎号 25,000 部

配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架  
内 容

第 2 1 7 号 ( 5 月 1 日 )	第 2 1 8 号 ( 1 0 月 1 日 )	第 2 1 9 号 ( 平 成 2 3 年 1 月 1 5 日 )
募集案内 ( 主催事業 ) しづ市民大学 お母さんと遊ぼう クッキング 手づくり工房 自然環境教室 理科実験教室 ヤマアジサイ観察会  募集案内 ( 共催事業 ) 自分史講座	募集案内 ( 主催事業 ) 佐倉学講座「佐倉道を歩く会」 しづ市民大学公開講座 クッキング 手づくり工房 自然環境教室 理科実験教室  募集案内 ( 共催事業 ) 志津JLCクリスマス会 自分史講座  行事案内 第 3 7 回志津公民館祭	募集案内 ( 主催事業 ) 「井野長割遺跡」を学ぶ 笑顔で子育て応援講座  募集案内 活動サークル紹介  佐倉学講座「佐倉道を歩く会」 を終えて  志津公民館利用案内

### 今後に向けて

今年度も例年どおり 3 回 ( 5、10、1 月 ) 「しづこうみんかんだより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子を紹介等が主な内容になっている。

主催講座の案内では、佐倉・城下町 400 年記念事業として 10 月に開設した佐倉学講座「佐倉道を歩く会」を掲載し、新たな学習の機会を提供した。

恒例のサークル紹介では、多くの地域住民から入会希望や活動内容の問い合わせ等があり、生涯学習に対する関心の高さが伺えた。

なお、近年では情報ツールの発達・多様化が進み、紙面による情報提供だけに頼ることでなく、ホームページの充実とともに周知の手段・方法を検討すべきと考えている。今後には、生涯学習の推進及び地域の活性化に一助となるよう、地域住民の目線からみた情報誌にしていきたい。

## 6 . 図書事業

---

### 図書等の貸し出し

内 容	図書資料やビデオなどの貸出事業を行う。
蔵 書 数	300 冊
実施期間	通年（公民館開館時間）
貸出方法	1 人 5 冊
貸出期間	2 週間
年間貸出数	一般 41 点
	児童 9 点
	DVD 0 点
	計 50 点（内、視聴覚資料 0 点）